

学校団体の博物館利用に関する調査とまとめ

藤原 尚彦*

1. はじめに

学習指導要領では、これまでも小中学校の社会科、理科、総合的な学習の時間等において博物館の活用が示されていたが、平成20年3月告示の学習指導要領では、理科に博物館との連携や協力が加わるなど学校教育に対する博物館の支援が一層求められている。

また、秋田県では、平成11年度から「あきたセカンドスクール推進事業」(注)の実施により、学校と県教育機関や県施設等との連携を推進している。

こうした背景のもと、秋田県立博物館(以下「当館」と記す)では、これまで学校団体が当館を利用することでより高い学習効果が得られるよう、館内での学習等について教員の要望を取り入れながら、事前および当日の綿密な対応に努めてきた(図12)。

現況としては、目的意識の希薄な利用はほとんど見られない。利用数についても児童生徒数が減少する中でここ数年ほぼ現状を維持している。

しかし、授業の一環としてのより有効な利用の仕方や、利用数の増につなげるための手立てに更なる工夫の必要性も感じているところである。

そのため、利用の実態や当館の対応も含めた学校団体のニーズの把握により、現在の状況を今一度改めて見直してみることとした。これにより今後取り組むべき方向性の糸口がつかめるものと考え、アンケート調査を実施した。

2. 調査の概要

(1) 調査期間

平成20年10月1日～平成21年9月30日

(2) 調査対象

調査期間に利用した学校団体179件(幼稚園・保育所27件、小学校93件、中学校41件、高等学校9件、特別支援学校9件)

(3) 調査方法

来館時に配布、FAXまたは郵送の回収による質問紙調査(図13)。

(4) 回収数 119通(幼稚園・保育所19通、小学校70通、中学校25通、高等学校2通、特別支援学校3通)

(5) 回収率 66.5%

3. 調査内容および結果と考察

(1) 利用状況

問. これまでも博物館を利用したことがありますか?(複数回答)

「今回利用の学年ははじめてだが、他学年が以前利用している」が42.9%と最も高く、次いで「一定の学年が2年以上続けて利用している」(例:本校では4年生になると「昔の暮らし」に関連して毎年利用している)が26.1%となっている(図1)。

情報の入手方法にも関連するが、校内の教員から利用の成果を聞いたり、あるいは学年が変わるときに申し送りのような形で博物館を利用した成果について紹介されていると考えられ、こうした積み重ねが次年度以降の利用の定着にもつながるものとする。

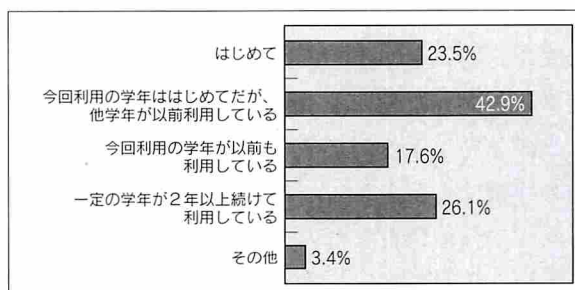


図1 利用状況

* 秋田県立博物館

(2) 情報の入手方法

問. 博物館の利用について何で知りましたか？ (複数回答)

「博物館のホームページ」が55.5%、「校内の先生方から聞いて」が50.4%と共に半数を超え、他に比べ高い結果となっている (図2)。

ホームページが多く活用されていることは喜ばしい結果であり、今後さらに充実を図っていく必要があると考える。

しかし、幼稚園・保育所については、ホームページを閲覧できる環境がまだ整備されていない施設もあるため、広報用の案内で利用促進を呼びかけたい。

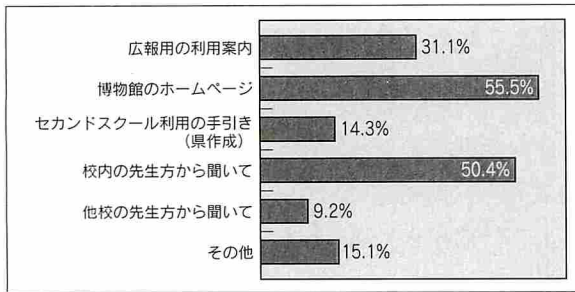


図2 情報の入手方法

(3) 他施設との同時利用

問. 博物館の利用と併せて他の施設を利用されましたか？ (該当する施設全て)

「小泉瀧公園・水心苑」は、当館と隣接していることから、幼稚園・保育所や小学校では学校行事等と併せて当館を利用するケースが多い (図3)。

また、特に中学校では総合的な学習の時間としてグループ別行動により放送局や新聞社などと共に当館を利用する例が多く見られる。学校と博物館の連携はもとより、これからは、青少年交流センターの宿泊学習も含み、他施設との連携も模索していく必要があると考える。

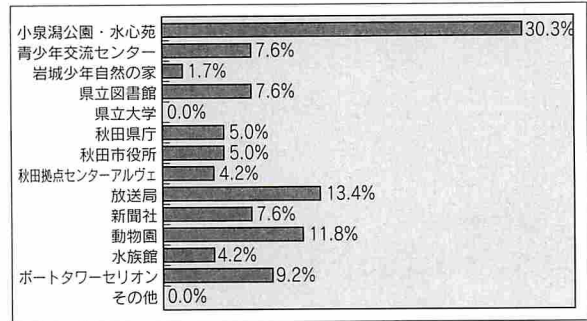


図3 他施設との同時利用

(4) 利用目的

問. どのような理由で博物館を利用されましたか？ (主なもの2つまで)

「教科や総合的な学習の時間に関連した実物資料を見ることができるから」が58.8%と最も多く、次いで「分野や教科にかかわらず様々なものにふれる機会として」が40.3%となっている (図4)。

本物の資料を間近で見ることができることは博物館利用の最大の魅力であり、体験を通して学習効果を高めることができる。当館は総合博物館であり、人文系と自然系の双方の資料にふれることができることから、秋田県の歴史や自然への興味付けとして利用されることも少なくないようである。

専門的な解説としては、小学校4年生の「昔のくらしや道具」に関わる内容で最も多く利用されるが、他の学習分野においても積極的に利用されるよう働きかけが必要と考える。

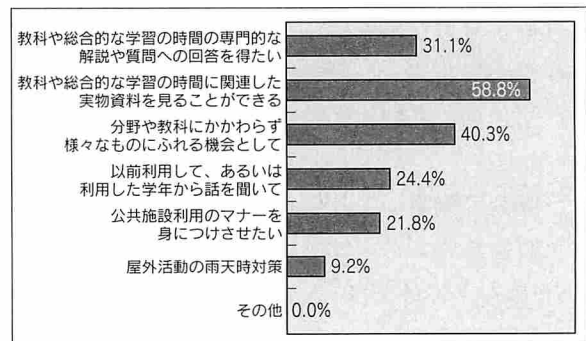


図4 利用目的

(5) 事前学習

問. 博物館の利用に向けてどのような事前学習をされましたか？（複数回答）

「行動面」が63.9%と最も多くなっている（図5）。

今回の調査は、小学校からの回答が多くの割合を占めており、また、幼稚園・保育所も含まれていることによるものと思われる。行動面の内容については、公共施設の利用の仕方などマナーに関する回答が大半であり、これは、生涯学習にもつながる大切な視点であると考え。

「学習面」は63.0%となっているが、当館のホームページやワークシートを使っての展示資料に関する内容が多く見られる。

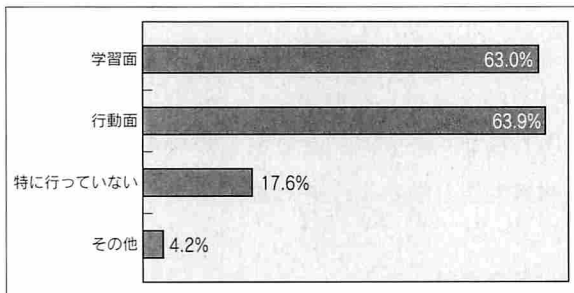


図5 事前学習

(6) ワークシート

問. 博物館の利用に際し、ワークシート等を使用されましたか？（複数回答）

当館では、利用側の実態に応じて使用できるような人文展示室用と自然展示室用の合わせて8種類のワークシートを準備している。

「学校で作成のワークシート」の中には、当館のワークシートをホームページからダウンロードし、より実態や学習目標に応じた使用ができるよう加工しているとの回答も多く見られ、有効活用されているものと考え（図6）。

当館のワークシートについては、使いやすさや利用効果の意見が多かったが、中には文字の大きさやルビなどについての指摘もあり、今後改善の参考とする。

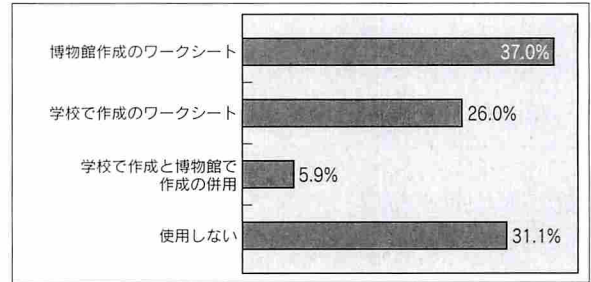


図6 ワークシート

(7) 職員の対応

問. 博物館の利用にあたり、職員の対応はいかがでしたか？

事前の電話や下見での対応および当日の対応いづれにおいても9割を超える満足の回答をいただいたことは大変喜ばしい結果といえる（図7、図8、図9）。

一方、下見を実施している学校団体は、今回の調査では、21.8%にとどまっている。遠距離であったり、多忙のため時間を設けることが難しい状況にはあると思うが、下見を行うことで、より高い学習効果を得るための打ち合わせが可能となるので、今後も積極的に奨励する。

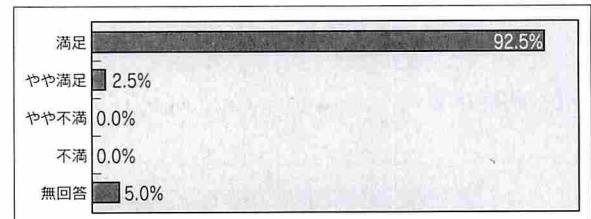


図7 職員の対応（電話）

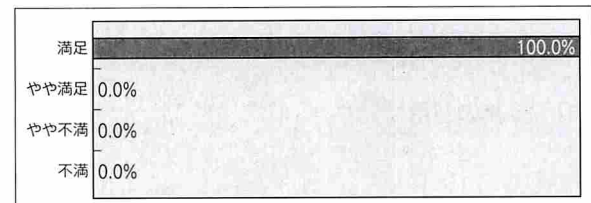


図8 職員の対応（下見）

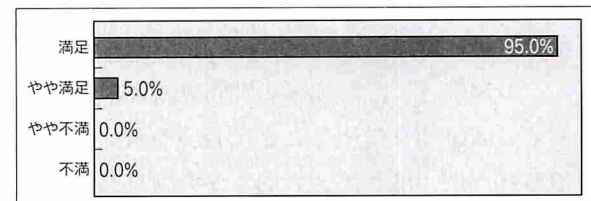


図9 職員の対応（当日）

(8) 利用効果と今後の利用

問. 学習活動のねらいを達成するうえで博物館の利用は効果がありましたか？

問. 博物館を利用してみて、今後も利用したいと思いますか？

当館は、幼稚園・保育所から高等学校まで幅広い学校団体から利用されている。また、総合博物館ということから利用のめあてや形態は各学校団体によって様々であるが、調査結果からもわかるように、利用したほとんどの学校団体は、学習の成果に確かな手応えを感じている（図10）。

自由記述欄には、「実物は活字より説得力がある」「子供たちの心に残る学習ができた」「興味関心が広がり良い経験になった」等の回答が多く見られ、このように学習効果を得たことが、今後も利用したいという思いにつながっているように考える（図11）。

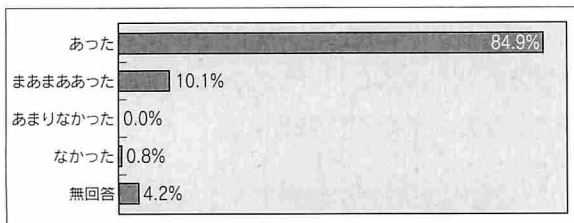


図10 利用効果

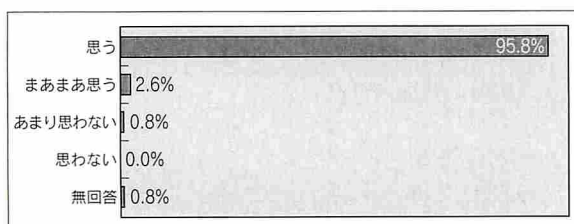


図11 今後の利用

4. まとめ

まとめとしては、次の4項目になる。学校教育への支援が深まるよう今後も学校団体の声を活かしながら対応に当たりたい。

(1) この調査は、学校団体の利用状況や利用してきての満足度を捉えることに視点を置いたものであったが、ほとんどの回答から対応に対して満足との結果を得ることができた。綿密な事前

の打ち合わせや当日のオリエンテーションの実施など利用する側の立場に立った対応方針が伝わっているものと感じた。こうした対応は次年度以降の利用の定着に大きくつながるものと考え、今後とも継続する。

- (2) より多くの学校団体から利用していただくために、ホームページの一層の充実を図る。さらに、博物館を会場として展示資料の効果的な利用について紹介する教師向け説明会の開催などについても検討する。
- (3) 調査結果の利用目的に関しては、「実物資料の見学」が最も多かったが、新学習指導要領の完全実施に向けて、これまで以上に専門的な解説や体験的な活動への要望が多くなることが予想される。新学習指導要領の内容をふまえた博物館の活用例などについて更に模索していく。
- (4) 今回の調査では、利用効果等についてたくさんのお意見や感想をいただくことができた。さらに今後は利用した児童生徒の変容を捉える手法をも検討しながら、より学習の成果が高まる博物館利用となるよう努める。

5. 参考文献

- ・あきたセカンドスクール推進事業の概要. 2008. 秋田県教育委員会
- ・セカンドスクールの利用の手引き. 2008. 秋田県教育委員会
- ・文部科学省ホームページ

(注)「あきたセカンドスクール推進事業」とは、学校と各教育機関等が連携を図りながら、郷土の自然や文化とのふれあい体験等を実施することで、子どもたちの豊かな人間性を育むとともに学習への興味関心を高め、生きる力を育むことを趣旨とした県教育委員会の事業である。教育機関等を利用して実施した体験活動等を、各教科等の授業時数としてカウントできる。

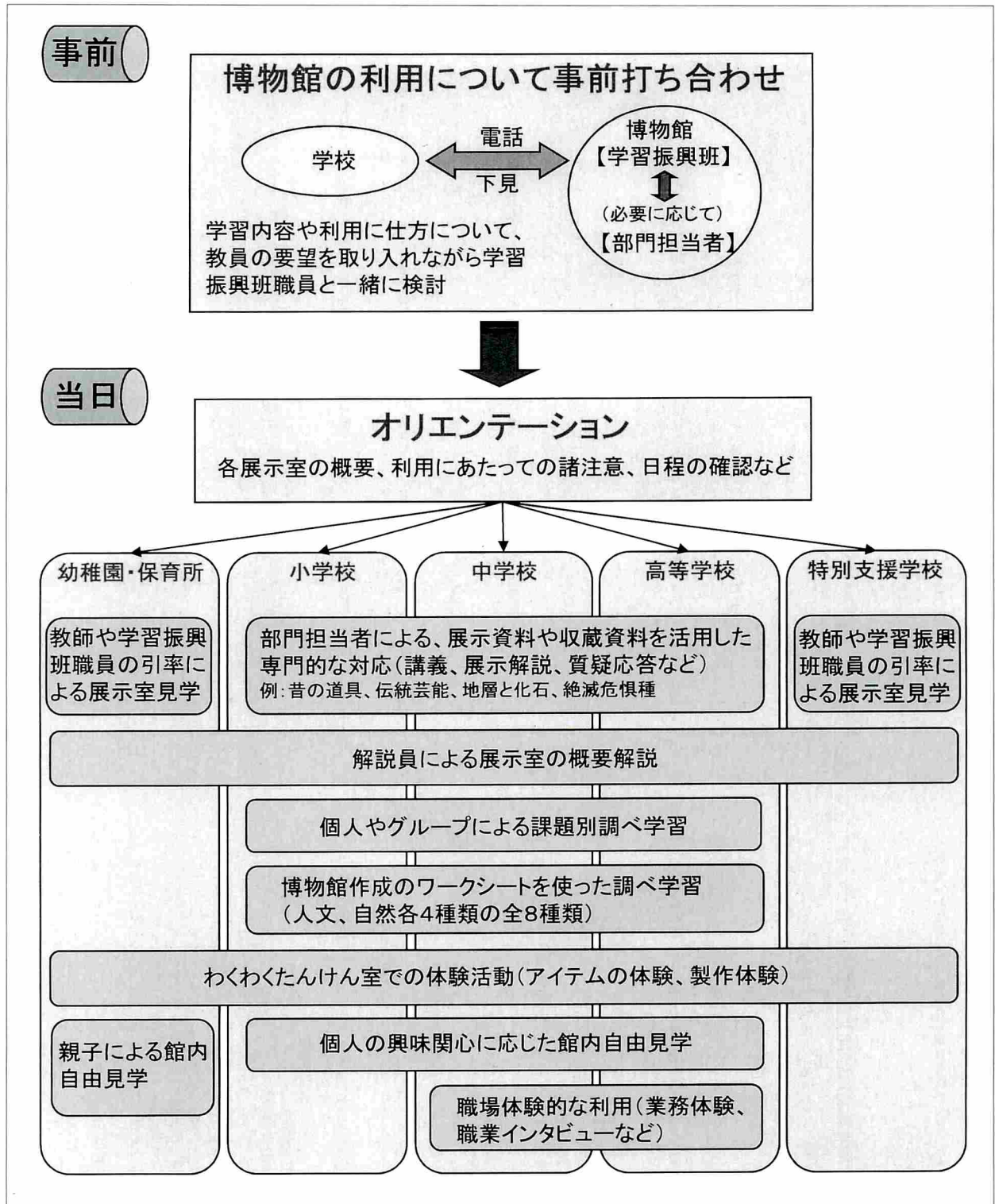


図12 学校団体による秋田県立博物館の利用

引寄せられた方がご記入のうえアンケート用紙2枚のみをFAXでお送りください。

秋田県立博物館学習振興班 宛
FAX：018-873-4123

学校団体の博物館利用に関するアンケート

■今回ご利用の学年を○で囲んでください(少人数グループでの利用も含む)。

幼稚園	保育所				
小学校	1年	2年	3年	4年	5年
中学校	1年	2年	3年	高等学校	1年
2年	3年	3年	3年	2年	3年

■以下の問いにつきまして該当する項目への○印および記述欄へのご記入をお願いします。

- 貴校ではこれまでも博物館を利用したこと(学校やその他の施設への職員への派遣などを含む)がありますか？(複数回答可)
 - () はい
 - () いいえ
 - () 今利用の学年はじめてだが、他学年が以前利用している
 - () 今利用の学年が以前も利用している
 - (例：今利用の6年生は、4年生の時も利用している)
 - () 一定の学年が2年以上続けて利用している
 - (例：本校では4年生になると普のくらしに関連して毎年利用している)
 - () その他()
- 博物館の利用について何で知りましたか？(複数回答可)
 - () 広報用の利用案内(博物館から各学校へ送付)
 - () 博物館のホームページ
 - () セカンドステップの学習の手引き(生涯学習課で作成)
 - () 校内の先生方から聞いて
 - () 他校の先生方から聞いて
 - () その他()
- 博物館の利用と併せて他の施設を利用されましたか？(該当する施設全て)
 - () 小泉湧公園・水心苑
 - () 青少年交流センター(ユースパル)
 - () 岩城少年自然の家
 - () 県立図書館
 - () 県立大学
 - () 秋田県庁
 - () 秋田市役所
 - () アルヴェ
 - () 放送局
 - () 新聞社
 - () 大森山動物園
 - () GAO
 - () セリオン
 - () その他()
- どのような理由で博物館を利用されましたか？(主なものを2つまで)
 - () 教科や総合学習の専門的な解説や質問への回答を得たいから
 - () 教科や総合学習に関連した実物資料を見ることから
 - () 分野や教科にかかわらず様々なものにふれる機会としたいから
 - () 以前利用して、あるいは利用した学年から話を聞いて良いと思ったから
 - () 公共施設利用のマネーを身につけさせたいから
 - () 屋外での活動の雨天対策として
 - () その他()

図13 アンケート調査用紙

- 博物館の利用に向けてどのような事前学習をされましたか？
 - () 特に行っていない
 - () 学習面 (主な内容) 約 時間
 - () 行動面 (主な内容) 約 時間
 - () その他 (主な内容) 約 時間
- 博物館の利用に際し、ワークシート等を使用されましたか？
 - () 使用しなかった
 - () 学校で作成したワークシート等を使用した
 - () 博物館のホームページに掲載のワークシートを使用した
 - 一 ホームページのワークシートを使用した学校はご意見ご感想等がございましたらご記入ください。
- 学習活動のねらいを達成するうえで博物館の利用は効果がありましたか？
 - () あった () まあまああった () あまりなかった () なかった
- 博物館の利用にあたり、職員の対応はいかがでしたか？また、ご意見ご感想等がございましたらご記入ください。
 - ・電話での打ち合わせ () 満足 () やや満足 () やや不満 () 不満
 - ご意見ご感想等
 - ・下見での打ち合わせ () 満足 () やや満足 () やや不満 () 不満 () 下見なし
 - ご意見ご感想等
 - ・当日の対応 () 満足 () やや満足 () やや不満 () 不満
 - ご意見ご感想等
- 博物館を利用してみて、今後も利用したいと思えますか？また、特に理由がございましたらご記入ください。
 - () 思う () まあまあ思う () あまり思わない () 思わない
 - 理由
- その他お気付きの点がございましたらご記入ください。
 -

(ご協力ありがとうございました)